

女性の視点 大切にしよう

好評・女性学入門講座終了

5月29日から6月19日まで、4回シリーズで「女性学入門講座」が開催されました。最近では、男女共同参画、男女共生などということばが盛んに使われ、社会的に活躍する女性も年を追うごとに増えています。そのような中、いまいちど「女性学」を正しく理解してもらおうと市教委が江別市婦人団体協議会と共催した講座ですが、主婦を中心に毎回40名余りが参加し、熱心に聴講しました。

初回の相内先生は、自身の留学体験から、日本とアメリカの女性に対する考え方の違いを指摘、「アメリカの職場

にはお茶くみの習慣はなく、そのような社会的規範として求められる「女性らしさ」は企業にとっても損失になる」として「もう一度女性の視点からいろいろなものを見つめることが必要。女性学は女がより良く生きるための学問である」と強調しました。

自己決定力

また、他の先生も一貫してこれまで女性に背負わされてきた性役割に固執せず、女性が自分の意志で行動できる自己決定力を持つ社会づくりが



諸外国との違いを語る相原先生

大切。それにより、本当の意味で男女がともに生きる社会ができる、と語り受講者の共感を集めていました。

テーマ及び講師は次のとおり。①「女性学って何？」北海道女子大学講師 相内真子

を活発化し、本市における生涯学習の振興を図るため市民一人一人の生涯にわたる学習要求に応じた学習機会の提供など、必要な事業を行うこととあります。このことをもう



会長 安宅 嘉美

就任のごあいさつ

この度、本年度の総会で伊藤前会長の後、会長という重要な役に選任され、とまどいをしているところであります。この時にあたり本会も三年目を迎え、設立の目的は市民の主体性に基づいた学習活動

一度しっかりと捉え、総会でご承認をいただきました各事業につきましても、役員の皆様方とご協議のうえ、教育委員会の指導をいただき取り進めていく所存であります。

特に本年度の事業のうち「紅ライフトーク'97」の開催につきましては、意にかなった事業でありますので、今後につきましても岩田醸造様と共々取り組んでいきたいと願っておりますので多くの市民のご参加を期待しております。

終わりに、皆様方のご協力のうえ、二年間精一杯努力をしていくことをお誓い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

日々楽しむ私の生涯学習



今井みね子さん

市民体育館の婦人健康教室に参加終了後、折角続けた運動をやめるのはとても残念なので、希望者だけで運動と親睦を目的としたサークルを発足しました。

スキー、ミニバレー、卓球、バドミントン、水泳、グリーンボールなど盛沢山な種目ですが、その間お互いの健康と運動を通してあまり上手でな

かった種目も少しは上達し、楽しさと満足感を充実させていただきました。発足当時は若かったこともあり苦にならなかつたのですが、わが身の加齢とともに若い会員と運動する上で色々ギャップもあり、生涯続けたいとの思いもあり新しいサークルをつくることにしました。平成七年、

豊かな心と健康な体力作り、年齢に見合った運動を進めていくことを目的として、名称をサークルハーモニーとしました。今のところあまりハードな運動ではないので、入会したい方は是非どうぞ。

種目は、卓球、ミニバレー、バドミントン、遠足、グリーンボールですが、大塚西町公園のグリーンボールは好評です。草原でおにぎりを食べお茶を飲み、この時はダイエツなどです。草原でおにぎりを食べお茶を飲み、この時はダイエツなどです。

楽しいスポーツ 忘れておやつを

いただき、話題もおしゃべりの話、福祉問題と豊富で、仲良く助け合いながらの現在です。会員は平均年齢六〇才、週一回の活動ですが、それぞれが色々な趣味を沢山もっているの勉強にもなり、ほけるひまはありません。これからも私なりに頑張っていきたいと思えます。(サークルハーモニー会長)



バターつてこうしてつくるんだね。(市教委・夏休み親子ふれあい体験学習)

生涯現役学び合い

人は様々な局面で、その場面に応じた学習をする。学校ではもちろんのこと、職場に入ってもその職業に関わることを学習し続けていく。

ただ、人はその社会人としての学習をあまり意識はしない。「自分がこの仕事に関わる上で必要なこと」と思って学習する。学習を継続するには強い意志が大切である。お仕着せの学習では意欲が湧かない。中学

字に作る苦労と完成の喜びに自己満足を味わっており

健全な身体づくりが生涯学習の基礎となっていることを認識し、高齢者健康教室に参加して一〇年になり、加して一〇年になり、八三才の最長老の方は数年前から参加されており、明るい元気さには会うたびに啓蒙されます。医学的な面からも、国保の健康教室で各種疾患の講義を受け、中でも高血圧に



清水 滋也さん

校で教員をしている私には、生徒の声が聞こえてくる。「勉強なんか嫌いだ!」「あーあ、数学と英語は嫌だな!」と、勉強を嫌いな生徒がいる。無理もない。自分が求めて学習しようとしたものではないからである。



佐藤 博志さん

学習を始めるにはきっかけがある。そのきっかけは人様々であるが、きっかけをつかんだ人は誰もが熱心に学習を継続する。自分の日常生活の中で、

関する教室で得た知識は現在の難しさを実感しました。その他、やきもの市では七宝同好会の仲間と共に売場に立つなど、講義を聞くだけではできない体験もしました。

以上を基に、行動的に参加したものとしましては、江別まちづくり一〇〇人会議と昨年の円卓会議での提言、道政モニター、北電モニター、道教委モニター等各分野で勉強しました。また昨年は老年の主張大会に応募し、入選者八名の中に入り、市民会館大ホールでの発表の



もっと知りたい、より深く追求したい、だから自分から求めていく。本来学習するとはこういうものである。学校とか職場だけが学習する場ではないし、また学習のきっかけを見つけない場でもない。知りたい、学びたいと思った時が、学習を始める日である。私たちは生涯現役を合言葉に、常に学び続けることが自分の人生をさらに豊かにすることでもある。(江別レクリエーション協会会長)

(聚楽学園生)

北陽美術協会

東出正信(事務局長)

北陽会は、昭和四六年に絵画の輪を近隣市町村にも広げ、江別の文化向上と絵画の新人発掘を目指して三九名で発足し、江別在住会員は公民館の絵画教室の指導、市民文化祭の絵画部門の実施団体として美術文化の普及向上のため事業活動を進めてきました。会

の発足依頼、各公民館の絵画教室、サークル講師を担当し生涯学習の推進に参加しています。当会は、絵画等の芸術の探求と会員相互の親睦を図ることを目的として事業活動を行っています。会員構成は全国全道規模の各種公募展の会員・会友・入選者から日曜画家の油絵・日本画・水彩・版画・切り絵・パステル画と

幅広に絵画を愛好する仲間であり、流派、技術をこえて心のふれあいを大切に、生涯学習として絵画愛好者は誰でも入会できます。

技術をこえた心のふれあい

絵画愛好の親睦集団として会員同志の交流を深め、互いに切磋琢磨して自己の研鑽に努め、よい絵が描けるように絵を描くことに生きがいを感じました。

本年度の事業を紹介すると、①春の小品展、②春のスケッチ旅行、③裸婦デッサン会、④第二六回北陽会展、⑤第二三回北陽会歳末チャリティー色紙小品展、⑥市立病院(やすらぎ広場)会員絵画常設展など、会員の自己研修の場となっています。



笑顔いっぱい、スケッチ旅行

学びの輪新たにひらく

平成9年度推進協議会終わる

と抱負を述べると、出席者からは激励の大きな拍手が送られました。

協議会は、市民主体の生涯学習推進組織として設立され三年目を迎えます。今年も現代的課題を取り上げた講座やフェスティバルなど、市民組織ならではの事業を展開しますが、それら各事業の充実に各方面から大きな期待を寄せられているところです。

新会員の紹介

7月2日付けで次の2団体が入会しました。

◆旭流旭昭吟詠学院江別支部/代表 姫野ヒデさん/会員 30名

◆のっぽろネイチャーゲームの会/代表 石崎一記さん/会員 64名



市民の手で学びのまちづくりをすすめます。

5月10日、市民会館において平成九年度の総会が開催されました。

議員二六名が出席し、八年度事業及び収支決算報告、業務

紅ライフトーク'97

あの大地 あのどよめき
～おりおりの中国と私～

今年も、江別市生涯学習推進協議会、岩田醸造(株)などの共催で恒例の紅ライフトークを開催します。

8回目を数える今回は、テレビ・ラジオ番組のインタビュアーとしても知られる元北海道新聞論説主



幹、創成川ルネサンス世話人の小三金氏をお迎えします。

私たちの隣の国中国、しかし欧米志向の強い私たちの暮らしの中では、えてして忘れがちです。

かつて満州国立建国大学に学び、戦後いちばやく鄧小平との会談を実現、その後も日中友好に尽力する講師が語る、おりおりの中国にご期待ください。入場無料。

◆8月21日(木) 10:30~12:00
◆江別市民会館大ホール
<申込・問合せ>
市教委生涯学習担当
381-1062



私の宝物

バラと共に

洞野 和子

私が三笠の隣町美流渡から江別に嫁いでもう四一年になります。

私と共にこの家で歳月を重ねてきた、このバラが宝物といえるほどいとおしいものです。肥料をやると色合いの良い花を付けるものの、手を抜くと色合いがボケてしまう。日々の丹念な世話が葉や花に表れる、何よりも四〇年



近くも花を咲かせる、可愛らしいものです。思い返すと、開拓農家に嫁ぎ義弟から初めてプレゼントされた五センチ程のバラの苗が、よく今までと感

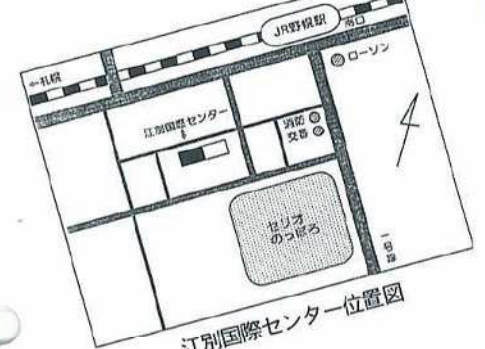
ていたようにも思えます。テレビ・新聞などで中心を痛める出来事が次々と伝えられる昨今、昔と違い社会全体が裕福になっている筈なのに人々の心がどことなく荒んで

子供達をはじめ孫達にもこの小さな生命の尊さを感じ、又それを育むことを、忘れかけられている優しさ、喜びを教え伝えられたらと思います。(文京台在住)

心します。当時は食べるため、生活のための仕事に夫婦して一杯で、草花などゆつくりと観賞することさえできない時代でした。家族みんなが家庭での役割を持ち、各々働いていてくれました。自分を守る以外に他の者を傷つけることもなく、与えられた条件に順応し精一杯に花を咲かせ、子孫のために虫に蜜を与え手伝ってもらおう。自然の営みにほんの少し人的手伝いでかわりを持つ楽しさと嬉しさは、他の人達が忘れずにどこかに持ち続けている感情であると思っています。

野幌駅南口から徒歩二分、昨年7月にオープンした市内の国際交流関係ボランティア団体の活動場所です。江別市国際交流推進協議会に加盟している二一団体が企画した行事や会議、サークル活動、勉強会等に利用されています。外国からのお客様を囲んでのミニパーティーや外国の料理教室も盛んに行われ、なかでも外国人講師による市民対象の語学教室は毎回好評です。9月からは、シルバー向け

の英語教室、英語入門―初歩の初歩―も開かれます。若い人と一緒に、迷っていたり、レベルが心配で、という熟年の方大歓迎です。国際センターで新しい出会いがあるかも知れませんよ。(所在地)



東野幌本町7
☎ 381-1111
月/金/10時~16時

◆会場・野幌公民館



受講者募集

食の話・五味五感五題

生涯学習講座を開講

9月17日
~10月15日

会員の募集

江別市生涯学習推進協議会では、加入団体を募集中です。市民主体の生涯学習推進組織として、今までにない市民ならではの学習会やイベントなどを実施していきます。趣旨にご賛同いただけるみなさまからのご連絡をお待ちいたします。
(事務局) 市教委生涯学習担当 ☎ 381-1062

メンバー募集

〈琴伝流大正琴江別恵翔会〉
大正琴を始めてみませんか！初心者、男女を問わず個人指導もします。演歌、ポピュラー、民謡、童謡など楽譜が読めなくても大丈夫。レッスンは毎週月曜、高砂会館で9~12時。鳥居恵美子先生。詳細は綾野さん(☎384-7278)まで。
〈大麻華道研究会〉
交友の輪を大切にうつつりゆく季節を花に感じながら、日常の雑事からしばし離れて、安らぎのひとつ花と語りませんか。初めての方大歓迎。活動は毎週水曜、午前、午後、夜の部。大麻公民館にて。詳細は中西さん(☎386-5509)まで。

◆テーマ及び講師(敬称略)
では、今年も生涯学習講座を開講、受講者を募集しています。
①「北国の食文化」北海道女子大学教授 羽田野六男
②「21世紀の食糧問題」北海道大学農学部教授 三島徳三
③「日本人の国民食」カレールーの話」アイディア料理研究家 星澤幸子
④「世界のチーズ・チーズの世界」サッポロルネッサンスホテル総料理長 大滝末馬
⑤「健康な大地・健康な食物」酪農学園大学教授 松中照夫。

編集後記

前頁で紹介したとおり、新たに二つの団体が協議会に入ってくれました。これまで、二年間の活動が認められ、力をかしてやろうという方が増えたことは、大変うれしいことです。今後、より一層の会の充実のためご協力をお願いします。